

# 国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。



## 宮城県本吉郡南三陸町

宮城北部森林管理署

人口 11,211人 (R7.11.30現在) 面積 163.4km<sup>2</sup>

市町村の木 タブノキ 市町村の花 ツツジ

南三陸町は宮城県の北東部に位置し、東は太平洋に面し、北は気仙沼市、南は石巻市、西は登米市にそれぞれ接しています。リアス海岸特有の猛々しい風光を有する三陸復興国立公園の一角を形成しています。

南三陸町の荒島・椿島・竹島には、それぞれタブノキが自生しています。

タブノキには、太陽の光に対して葉と葉が重ならないようにするという習性があり、タブノキの群生の下で上を見上げるとタブノキの枝と枝の間は、まるでだれかが刈り込んだような光の境界線が描かれています。



下から見上げたタブノキ

南三陸町には、イースター島のトゥキー族が製作した“本物”のモアイ像があります。



イースター島の石を使い彫られたモアイ像 (左)

このモアイは、チリ共和国と南三陸町の友好の証、震災復興のシンボルとして贈られたもので、目は白サンゴと黒曜石で作られており、プカオと呼ばれる帽子のようなものが乗っています。

南三陸キラキラ丼は、地元南三陸産の海鮮を贅沢に使い、見た目も味も豪華なその名の通り“キラキラ”した丼ぶりのことです。その時期に合わせた旬の食材を使って作られる丼ぶりは、春つげ・うに・秋旨・冬のみかくづくしの計4種類となっています。



南三陸キラキラ春つげ丼 (食事処 松原)

環境にやさしく、南三陸の豊かな自然を心ゆくまで楽しめる新しいアクティビティ「HOBIE」。

三陸復興国立公園の一部であり、さらにラムサール条約湿地にも登録されている、世界的にも貴重な自然環境である志津川湾を舞台に持続可能なアウトドア体験をすることができます。



燃料を一切使わない足漕ぎカヤック「HOBIE」

より詳しい市町村の魅力はこちらから→



お問合せ先：南三陸町商工観光課 Tel. 0226-46-1385